地域医療（国境を越えた地域医療支援機構）

【研修目標】

1　一般目標（GIO：General Instructional Objective）

へき地病院の役割を理解し、保健・医療・福祉の総合的視点に立った地域医療活動の実践方法を修得する。

2　行動目標（SBOs： Specific Behavior Objectives）

（1）かかりつけ医の役割を説明することができる。

（2）患者、家族、地域のニーズを知り、応える診療を行う。

（3）地域医療を担うチームの一員として在宅医療を計画し、チームリーダーとしてコメディカルスタッフと連携して実施する。

（4）連携可能な保健・福祉・介護の資源を述べることができる。

（5）地域住民にも働きかけることにより、地域全体の健康増進に関与する。

【研修方略】

1　研修場所

長崎大学病院　国境を越えた地域医療支援機構　臨床教育拠点

国民健康保険 平戸市民病院

2　研修期間

1か月間（それ以上の期間の研修も可）

3　方法

（1）訪問診療（火・水・木曜日の午後）

在宅で療養している患者宅の訪問診療を行う。平戸市民病院の医師が同行し現場で指導をうける。

（2）外来（午前・午後）

新患・継続外来、健診（等）の研修を行う。内視鏡の実習も可能。

（3）離島診療所（研修期間中の1日）

平戸市の近隣離島である的山大島（人口約1,000人）の大島診療所又は度島（人口約700人）の度島診療所で離島の研修を行う。

入院施設を備えていないへき地診療所を経験して、地域に対する医療の役割を学ぶ。

（4）訪問看護（火・水・木・金の午前月2回以上）

訪問看護を経験し目的と役割を学ぶ。

（5）訪問リハビリ（研修期間中の1回以上）

理学療法士の在宅リハビリを経験し目的と役割を学ぶ。

（6）ケアマネージャー訪問　（研修期間中の1回以上）

毎月一回のケアプランのモニタリング訪問に同行する。
医療と福祉の連携について学ぶ。
（７）特別養護老人ホーム回診（水の午後　研修期間中１回以上）
平戸市民病院の医師と回診を行う。
介護施設の役割と医療との連携について学ぶ。
（８）乳幼児健診（研修期間中の１日）
乳幼児の定期健診に問診から診察まで指導医とともに担当する。
地域における小児健診の役目と小児科との連携について学ぶ。
（９）多職種実習（研修期間中の１回以上）
調剤実習（院内薬局、院外薬局で服薬指導等を担当する）
放射線科実習（胸部レントゲン撮影、CT の操作など）
臨床検査実習（ギムザ・グラム染色などを行う）
他の専門職種の役割や目的を知り、それらに配慮した多職種連携について考える。
(10) 健診（毎朝）
健康診断を行う。
腹部のスクリーニングエコーを担当する。
リスクファクターを考慮した健康指導を行う。
(11) 通所リハビリテーション（研修期間中の１回以上）
通所リハの役割と目的について学ぶ。
利用者の送迎に同行し生活環境運動機能が在宅生活に及ぼす影響について学ぶ。
(12) 勉強会
ディリーカンファ（月～金曜日の 17：00～）で日々のふりかえりを指導医と共に行
う。
プライマリケアに関する講義（金曜日の８：00～）
プライマリケアに関するオンライン講義（水・木曜日の７：30～）
各種講義（研修期間中１回以上）

【研修指導医】

国民健康保険　平戸市民病院　副院長　　中桶　了太

【評価】
（１）研修医は研修期間終了時に、プログラムに対する評価を行う。
（２）研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する。